

部落解放同盟京都市協議会

議長 宮崎 茂 様

メッセージ

2022年度部落解放同盟京都市協議会定期総会のご開催を心よりお祝い申し上げます。また日々、ご活躍されておられる皆様に敬意を表するとともに、日頃は、私たち自治労京都市職員労働組合の活動に対し、ご理解とご協力を賜り、まことにありがとうございます。

全国において、新型コロナウイルス感染者はピークアウトしてきたものの、今また、第7波へ突入してしまい、京都では1日当たりの新規感染者数が初の4000人越えとなり、不安視する声も聞かれるなか、私たち公務労働者を取り巻く状況は依然として厳しく、労働組合を取り巻く環境も大きく変化し、さらに、新型コロナウイルスの感染拡大防止に関連して「新しい生活様式」の定着や「対応戦略」の実践がすすめられ、「Withコロナ」・「Afterコロナ」を意識し、引き続き職場環境や働き方の対応が求められる状況となっています。

市民に信頼される労働組合として、社会の安心・安全・信頼の基礎となる地域公共サービスの担い手としての責任を果たし、安心して生活できる社会保障制度の確立をはじめ、地方自治の充実発展と、平和憲法の堅持、そして、自治体労働者はもとより、全労働者の生活と労働条件の一層の前進が喫緊の課題であります。

部落解放同盟京都市協議会の皆さんにおかれましては、今定期総会を契機とし、宮崎議長を先頭に、部落の完全開放、すべての差別撤廃に向けた、力強い運動を一丸となって邁進されることをご祈念申し上げ、連帯のメッセージとさせていただきます。

2022年8月9日
自治労京都市職員労働組合
中央執行委員長 森本 尚秀



部落解放同盟京都市協議会

議長 宮崎 茂 様

メッセージ

2022年度定期総会のご開催を心からお祝い申し上げます。また、みなさまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、常日頃より京水労に対するご厚情に、心から感謝申し上げます。

世界を混乱させた新型コロナウイルス感染症は幾度となく変異を繰り返してきました。行動制限等の緩和は喜ばしいことである反面、ウイルスが無くなったわけではありません。今後は、コロナと共生していくために、新しいライフスタイルを確立していかなければならないと考えます。

日本経済は、今春闘の結果において主要企業の賃上げ率はアップしているといわれていますが、実際にそれを実感できる気配はなく、ロシアによるウクライナへの侵攻や、急激な円安による輸入価格の押し上げなどの影響を受け、エネルギーや食料品など社会生活と密接な関係にあるものが次々と値上げされています。消費者物価指数は2パーセントを超えて上昇し続けており、今後可処分所得はさらに減少し、組合員の生活はより厳しくなることは明らかです。

このような中であっても、上下水道事業で働く組合員は「エッセンシャルワーカー」の一員として、24時間365日止めることなく水道・公共下水道サービスを提供し続けています。これは組合員一人ひとりが業務への高い意識と強い責任感を持っているからであり、結果として市民から絶大な信頼を得ています。

安心・安全な水道水を安定的に供給し続ける水道事業。大雨等の災害から都市基盤を守り続ける公共下水道事業。わたしたち上下水道事業で働く組合員は「公共の福祉の増進」のため、業務に邁進し続けることが必要であり、そのためには、安心して業務に打ち込める環境づくりが重要です。

京水労は、これからも常に市民の立場に軸足を置いたうえで労働運動を展開していく決意であります。今後も厳しい情勢が予想されますが、未来のため共に連帯して闘いましょう。

2022年8月吉日
京都市水道労働組合
執行委員長 森本 勝



2022年8月9日

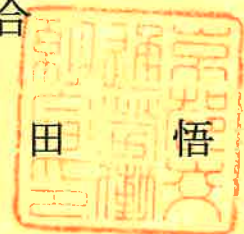
部落解放同盟 京都市協議会 様

定期総会が盛大に開催されることに対し、心よりお祝い申し上げます。

厳しい経済情勢が続いている中ではありますが、地道な努力で部落完全解放実現に向けた取り組みを進めるための活発な討議をされますことを祈念し、ご挨拶と致します。

京都交通労働組合

執行委員長 佐



部落解放同盟京都市協議会

議長 宮崎 茂 様

メッセージ

2022年度部落解放同盟京都市協議会定期総会が新型コロナウイルス感染症の
厳しい状況下のある中にあっても、開催に至りましたことに、心よりお祝い申し上げます。
あらゆる差別をなくし、人権を確立する闘いに対して日々ご尽力いただいていることに
心から敬意を表します。私たち学職労としても微力ながらしっかりと連携して活動して
参ります。

日々、状況が変化する中、学校業務にたずさわる者とし、子供達の安心・安全のため
を第一に、また組合員の生活を守るため決意を新たに取り組んで参りたいと思います。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

結びに、2022年度定期総会で一層の団結を深められ、皆さんの活発な議論のもと、
今後益々のご発展とご盛会を祈念申し上げお祝いのメッセージとさせていただきます。

2022年8月 1日

京都市学校職員労働組合

執行委員長 丸本 早苗



2022年8月9日

部落解放同盟京都市協議会
議長 宮崎 茂 様

メッセージ

2022年度部落解放同盟京都市協議会定期総会が、新型コロナウイルス感染症が拡大する厳しい状況の中であっても開催に至りましたこと、こころよりお祝い申し上げます。

また、貴協議会におかれましては生きる全ての人々の平等と人権確立・世界平和実現のため日々、真の水平社会実現をめざした積極的な取り組みをされていることに対し、深く敬意を表します。

第7波といわれる新型コロナウイルス感染拡大はこれまでの主流であったオミクロン株のBA.2からBA.5に置き換わってきていることで、更に強い感染力のために感染者が激増しています。全国で医療体制が厳しい状況が続いており、重症化を防ぐ観点からワクチン接種が推奨され、高齢者や基礎疾患を持つ方々に向けて4回目の接種計画も進められています。そんな中、政府は7月29日に「BA.5対策強化宣言」を新設し、都道府県による住民や事業者への協力要請や呼びかけの取り組みを強化するとしました。

数年に渡る新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済が非常に大きな打撃を受け、全国的に倒産や解雇等、労働者の雇用環境が悪化し、すべての働く者が不安な日々を過ごしています。更には生活していくうえで欠かせない光熱費や食品・生活用品などの物価の高騰が重く生活にのしかかり困窮しています。

このような社会が人々の生活格差を増大させ、人の心のゆとりを失くし、思いやりや助け合うという気持ちさえ持たなくなってしまう今であるからこそ、平等に生きる権利を守り、あらゆる差別を許さない社会実現に向けて取り組まなければなりません。7月に行われた参議院選挙では改憲勢力が多くの議席を取り、平和に暗く大きな影を落とすことになりました。憲法改正を断固として阻止するべく厳しい情勢ではありますがともに闘っていきましょう。

本日の2022年度定期総会で実りある方針が決定され、組織の更なる団結と貴協議会のますますのご発展とご参加の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、連帯のメッセージとさせていただきます。

京都市学校給食職員労働組合
執行委員長 橋本 正樹



部落解放同盟京都市協議会
議長 宮崎 茂 様

メッセージ

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2022 年度部落解放同盟京都市協議会定期総会のご開催を心よりお
祝い申し上げます。

あらゆる差別をなくし、人権を確立する闘いに対して日々ご尽力
いただいていることに心から敬意を表します。

私たち議員団としても、活動方針を共有し、しっかりと連携して活
動してまいります。

また、最大の課題である財政再建にもしっかりと一丸となり全力
で取り組む所存です。

今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

むすびに、今大会が実り多きものとなりますとともに、今後ますま
すのご発展をお祈り申し上げ、お祝いのメッセージとさせていただきます。

2022 年 8 月 2 日

民主・市民フォーラム京都市会議員団
団 長 天方ひろゆき

お祝いのメッセージ

本日は2022年度部落解放同盟京都市協議会定期総会のご開催を心よりお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス対策が続く中、京都市協議会の皆様には、人権政策へのご提言活動に取り組まれ心より敬意を表します。

この度の参議院選挙では、皆様のお力添えのおかげで福山哲郎が当選させていただくことができました。

立憲民主党は「生活安全保障」の考えのもと、勤労者、生活者のために、より一層力強く取り組んでまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

部落解放同盟京都市協議会の皆様の更なるご発展をお祈りいたしますとともに、公平公正な社会を目指し邁進してまいります事をお誓い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

2022年8月9日

立憲民主党 代表

衆議院議員

泉 ケンタ 



メ ッ セ ー ジ

本日ここに、2022年度部落解放同盟京都市協議会定期総会が開催されますことをお祝い申し上げます。日頃より宮崎茂議長をはじめ、皆様には大変お世話になり、感謝申し上げます。また、今般の参議院選挙は本当に厳しい戦いでしたが、皆様の力強いご支援のおかげで当選を果たすことができました。重ねて深く感謝申し上げます。

近年、部落差別解消法、障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法が成立し、社会における人権尊重の意識は高まってきています。しかし、ネット上での誹謗中傷や差別情報の拡散、コロナ禍での人権侵害など、新たな人権問題も発生しています。小生も立憲民主党人権政策推進議員連盟の顧問として、包括的な人権救済制度の実現に向けて、引き続き尽力して参ります。今後もご指導・ご鞭撻の程、よろしく願いいたします。

結びに、本日が活発なご議論の中、実り多きものとなりますこと、部落解放同盟京都市協議会の今後益々のご発展をご祈念申し上げ、メッセージとさせていただきます。

2022年8月9日

参議院議員 福山哲郎



祝

辞

本日、部落解放同盟京都市協議会「二〇二二年度部落解放同盟京都市協議会定期総会」が開催されますことに、心よりお慶び申し上げます。

議長宮崎茂様をはじめ皆様には、日頃より大変お世話になっておりますことに、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスやロシアによるウクライナ侵攻など、日本経済にとっても厳しい状況が続く中、日本のために、尚いっそう力を尽くして奮闘してまいる決意です。今後とも、ご指導を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

結びに、本日ご参加の皆様のご健勝ご多幸をお祈り申し上げ、私からの連帯のご挨拶とさせていただきます。

令和四年八月九日

衆議院議員

比神 圭朗



メ ッ セ ー ジ

本日の「2022年度 部落解放同盟京都市協議会定期総会」が新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響がある中、関係者の皆様の様々な創意工夫により開催されましたことに心より敬意を表させていただきます。

真に人権が尊重される豊かな社会を目指し、日夜様々な人権問題の解決や人権政策の確立と反戦平和のために取り組んでおられる、宮崎茂 議長をはじめ、部落解放同盟京都市協議会に結集される皆様の活動に敬意を表させていただきます。また、国民民主党京都府連ならびに所属する国会議員や自治体議員、予定候補、幹事の諸活動に対しまして、深いご理解と多大なご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。

時代が進んでも、貧困による社会格差は拡大しています。また、ネット社会の発展や新型コロナウイルス感染症の脅威は、社会や人々の生活に大きな影響と変化を与えました。ウイルスへの感染や今後の経済、生活への不安や誤った思い込みから、ネットの匿名性や拡散性も合わせ、意図せず偏見や差別、人権侵害といった新たな問題を生み出しています。

2020年の結党から私たちは「改革中道」、「対決よりも解決」の政治姿勢で、様々な日本の課題や新型コロナウイルスによる健康、生活、経済に対する影響や打撃に対して、「政策先導型政党」として政策提案を行い、政策を実現し、課題を解決してまいりました。

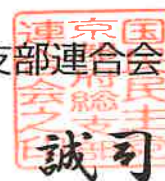
引き続き、非自民・非共産の枠組みの中で「教育無償化をはじめとした人づくり」「積極財政への転換による賃金の上がる経済の実現」「防衛のみならず、エネルギー、食糧問題も含む安全保障、自分たちの国は自分たちで守る」という国民民主党の3本柱の政策と国家の実現を目指すことで、現在の自公政権に代わり、日本を変える先導役を果たしてまいります。皆様の地域で活動する所属国会議員や自治体議員、予定候補、幹事へご意見、ご要望などお寄せ下さい。しっかりと取り組んでまいります。

結びに、全国水平社創立100周年を節目として部落解放運動の更なる前進と、世界人権宣言や部落差別解消推進法の精神を意義深く受け止め、真に人権が尊重される、豊かな差別なき人権確立社会の実現を目指し、日々取り組んでおられる部落解放同盟京都市協議会と、そこに集う皆様と、本日までご参加されておられる全ての方々の益々のご発展とご健勝ご多幸を心からご祈念申し上げます。お祝いのメッセージとさせていただきます。

2022年8月9日

国民民主党京都府総支部連合会

会長 前原



2022年度部落解放同盟京都市協議会定期総会の開催まことに
おめでとうございます。

日頃より宮崎 茂議長を先頭に貴協議会様におかれましては
あらゆる人権の確立にご尽力頂き、心からあらためて感謝
申し上げます。私ども公明党京都市議員団も意を同じく
するところであり、心強く感じております。現在新型
コロナウイルス感染症が第7派となり、今までにない
猛威をふるっており、またロシアのウクライナ侵略に
よる物価高など社会を取り巻く環境は大変厳しい状況
にあります。だからこそ目の前のお一人を大切に、互いに
支え合う社会、他者を思いやる社会を皆さまと共に
創り上げていかなくてはならないと意を強く
しております。

一日も早く気兼ねすることなく皆さまとお会い
できる日を楽しみに、更なる貴協議会の益々の
発展と関係者の皆様のご健康を心よりお祈り
申し上げますご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

令和4年8月9日

公明党京都市議員団

団長 湯浅 光彦

2022年8月9日

部落解放同盟京都市協議会

議長 宮崎 茂 様

メッセージ

部落解放同盟京都市協議会 2022年度定期総会のご盛会をお喜び申し上げますとともに、あらゆる差別をなくし、「福祉で人権のまちづくり運動」を推進しておられます貴協議会の自主的な活動に敬意を表します。

ウクライナにロシアが侵攻し、時代が逆戻りしたような戦争が起こりました。戦争は最大の人権侵害であり、外交の力で平和を回復しなければなりません。にもかかわらず、自公政権は「敵基地攻撃論」や「核共有論」を主張し、日本を再び戦争のできる国にしようとしています。

国内にあっては、新型コロナ感染が収束を見ない中、経済活動を優先し、非正規労働者や中小商工業者などの安全・安心を軽視する自公政権の対応によって、再び感染が拡大しようとしています。

近年ネット上に差別が拡大、被差別部落の地名を公表する「鳥取ループ・示現舎」のような悪質な集団が現れました。決して許してはなりません。「人権侵害救済法」の制定が求められています。

先の参院選では、部落解放同盟中央本部のご推薦を得て、福島瑞穂党首が議席を確保、政党要件を維持することができました。心より御礼申し上げます。

社民党は、皆さんの力に支えられて、憲法の保障する生命と暮らしを守り、平和な日本とアジアの実現を目指して活動を続けます。

21世紀を人権の世紀、平和の世紀とするために、共に闘いましょう。

社会民主党京都府連合

代表 中村 在男